

早来町役場閉庁式



3月24日に行われた閉庁式では、町議会議員の方々や職員の見守る中、正面駐車場の掲揚塔から町旗が降納され、早来町役場を閉庁しました。

追分町役場閉庁式



3月24日に追分町役場としての閉庁のセレモニーが行なわれました。町長、助役、教育長が町旗を箱に収め、53年間の町の歴史にピリオドを打ちました。



安平町誕生にあたって

安平町長職務執行者

出口 明



安平町の誕生にあたりご挨拶申し上げます。

明治33年に植苗村と勇払村の一部が安平村となり52年目にして追分町を分村し、今、53年を経て安平町として再出発することになりました。

昭和の大合併時に分村して、平成の大合併に再度合併するという因縁を感じながら町民のみなさまのご協力に感謝いたします。

私たち両町は、国の行政改革の一環から人口の減少、少子高齢化、医療費・社会保障費の増加を見据え、合併の流れの中で、心を一つにしてこ

れまで築いてきた特色あるまちづくりを守り、誇りうる伝統と文化を継承し、さらに磨きをかけて素晴らしい希望に満ちた新町を創り上げていかなければなりません。

新町安平町は、国道234号線、JR石勝線・室蘭本線、清流安平川、そして何よりも交通のアクセスが良く、新千歳空港や苫小牧港へは15分から20分で行くことができる素晴らしいまち、今後発展が大いに見込まれる地域であります。

まちづくり計画のテーマである「くらしの笑顔が広がるぬくもりと活力と躍動のまち」を目指して、町民が安心して平和に暮らせるまちにしてまいります。

両町のみなさまがお互いの垣根を取り払い、お互いを思いやり、協力し合って新生安平町を築いていただきたいと思っております。

最後に、町民のみなさまのご健勝と安平町の限らないご発展を期待してご挨拶と致します。